

## 道路整備財源の確保等に関する提言

地方が真に必要とする道路整備を促進するため、国は、次の事項について積極的な措置を講じられたい。

1. 地方が真に必要とする道路整備を計画的に実施できるよう必要な財源を長期安定的に確保すること。

また、道路整備事業に係る社会資本整備総合交付金及び防災・安全交付金については、適切な財政措置を講じること。

2. 道路ネットワーク構築のための財源確保等

(1) ミッシングリンクの解消、新たな国土軸の形成及び大規模災害時における代替性確保等のため、高速自動車国道、一般国道及び地方道等について、地方の実情を十分勘案し、必要な財源を確保したうえで早期に整備すること。

(2) 道路法に基づく重要物流道路については、地方の実情を十分踏まえ指定するとともに、当該道路の機能強化及び整備に係る重点支援を行うこと。

(3) 高速自動車国道等における暫定2車線区間については、早期に4車線化すること。

(4) スマートインターチェンジの整備を促進すること。

3. 道路・橋梁等の老朽化対策については、維持修繕に関する省令・告示の規定に基づく事業等に対し、防災・安全交付金等に加え、地方財政措置による十分な支援を講じるとともに、技術的支援等により都市自治体の負担を軽減すること。

特に、点検等に係る費用については、幅広く地方財政措置を講じること。

4. 安全で快適な通行空間の確保等

(1) 安全で快適な通行空間の確保のため、無電柱化、踏切道等における歩行者安全対策及び自転車通行空間整備を推進すること。

(2) 令和元年5月に大津市で発生した園児の交通死亡事故など、子供が犠牲となる交通事故が続発していることから、子供を交通事故の被害から守る

ため、未就学児を中心に子供が日常的に集団で移動する経路の緊急安全点検を早期に完了するとともに、その結果を踏まえ、交通安全施設等の整備強化に加え、歩道の設置・拡充、自転車の利用空間の分離、防護柵の設置等により安全・安心な歩行空間の整備を強力に推進すること。

5. 地域活性化に資する「道の駅」の整備・活用については、十分な財政措置を講じるとともに、関係機関との連携体制の整備など必要な支援策を講じること。

6. 都市部及び都市部周辺の主要幹線道路等における渋滞の解消に資する対策を講じること。

7. 狭あい道路整備等促進事業を恒久化するとともに、適切な財政措置を講じること。

8. 東日本大震災関係

被災地域の産業復興、安全・安心なまちづくりを推進するため、復興道路・復興支援道路等の道路網について、事業完了までの財源を確保したうえで、早期に整備すること。